

society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

拜島駅前にも多摩のアンテナショップ

石川酒造直営 11月オープン

「ここに多摩の素敵が集う、ちょっとイイモノ、ちょっと便利なお店」がコンセプト

多摩地域の商材をそろえた民間のアンテナショップが11月、JR拜島駅前にオープンする。石川酒造(福生市熊川)が直営し、多摩地域ならではの特産品を揃え、地域の魅力と共にPRしていく。店舗名称は公募し、現在審査中。

「ここに多摩の素敵が集う、ちょっとイイモノ、ちょっと便利なお店」がコンセプト。食品、飲料、日用品、食器、雑貨、手土産品などを生産者から預かり、販売する。店内で購入した商品をその場で味わえるイートインコーナーや専用サーバーを使った有料の日本酒試飲コーナーも併設する予定。

西多摩地域には、あきる野、檜原の特産品などを扱う秋川渓谷物館・みやび工房(日の出町大久野)などがあるが、本格的なアンテナショップは初めて。営業時間は11時〜20時で、定休日は毎週火曜日を予定。

名称と採用者は9月中旬に公式サイトで発表する。採用者と最終候補者にはアンテナショップで使用できるクーポンや日本酒などが贈られる。

同酒造は酒飲みの特長を掲げ、醸造する多摩の恵を製する。採用者と最終候補者にはアンテナショップで使用できるクーポンや日本酒などが贈られる。

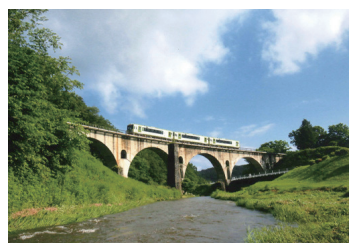
創業150年の酒蔵がアンテナショップの運営に乗り出す。



創業150年の酒蔵がアンテナショップの運営に乗り出す。

散歩も楽しめる。30年余り前には直営で鉄板懐石の熊川屋やフランス料理のはいから屋などを展開したこともある。数年前から敷地内直売所の「酒世羅」で感謝デーを実施。同酒造のワインやビール、限定たる酒の量り売りなどを行うほか、地元業者によるマルシェが人気を呼んでいる。

石川彌八郎社長は「多摩地域には素晴らしい商品が沢山あり、十分世界でも通用するはず。アンテナショップを通して、その素晴らしい商品を発信し、地域の活性化につなげられたら」と話している。



「河村豊写真展」小澤酒造で7日

ローカル線と原風景をテーマに「河村豊写真展」が小澤酒造澤乃井ギャラー(青梅市沢井)で9月7日〜24日まで開かれる。懐かしい思い出や、ふるさとの風景、いつか行ってみたい場所などに合わせる。10時〜16時30分。11日、19日は休館。

5年連続最高金賞 カレーパンダランプリで

「秋川牛キーマカレーパン」 「あ・ら・も・ど」秋川駅北口



中嶋市長に最高金賞を報告した野田店長(右)も「あ・ら・も・ど」(あきる野市秋川)の「秋川牛キーマカレーパン」が7月、「カレーパンダランプリ2023」(日本カレーパン協会主催)のキーマカレー部門で5年連続最高金賞を受賞した。

秋川駅北口にあるパン店「あ・ら・も・ど」(あきる野市秋川)の「秋川牛キーマカレーパン」が7月、「カレーパンダランプリ2023」(日本カレーパン協会主催)のキーマカレー部門で5年連続最高金賞を受賞した。



特徴で、売り上げ全体の2割強を占める同店の目玉商品。洋食の調理師を経験してきた店主の野田満由樹さんは、地元の特産品を使うなどアイデアを次々に商品化。トウモロコシを使った生食パンやおやき、ノラ

ボウの粉末を練り込んだ焼き菓子なども常連に喜ばれている。8月3日には中嶋博幸あきる野市長を表彰訪問し、5年連続の最高金賞を報告した。中嶋市長は「秋川駅前に開店されて25年。こだわりパンをずっと作り続けていくという熱意が素晴らしい」と今後の活躍に期待を寄せた。

営業時間は8時〜19時。木曜定休。企画には、市内の中野修一さんと中根一明さんの農家2軒が協力。この日の収穫作業

激辛フェスへ青唐辛子収穫

羽村市商工会青年部 来年2月開催



猛暑の中で収穫作業を行った伊藤さん(後列右から4人目)ら青年部の皆さん

来年2月に1カ月にわたり開催を予定する「第8回はむら激辛フェス2024」に向け、主催の羽村市商工会青年部が7月28日、地元農家で激辛の元になる辛い強い青唐辛子を収穫した。

「飲食店が参加しやすい地域を盛り上げるイベントを」と、和風肉ビストロ空楽を営む、現在同商工会青年部長を務める伊藤巧さんが提案。6年前から始まり、コロナ禍でもテイクアウトに絞って続けてきた。

企画には、市内の中野修一さんと中根一明さんの農家2軒が協力。この日の収穫作業